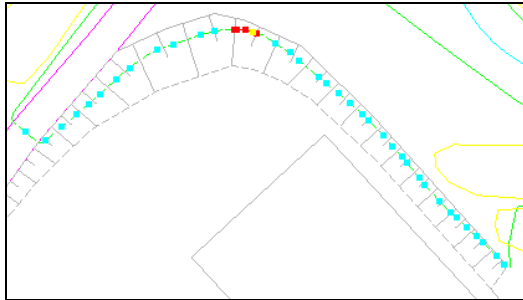


拡張 DM エディタ バージョン 6.0.41 更新記録

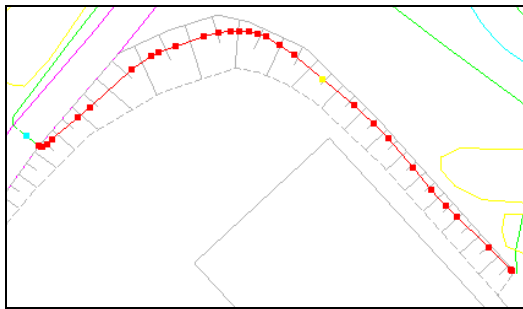
2010/06/23
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 等高線間断区分

メニュー[一括処理]-[等高線間断区分]で、間断区分を設定した等高線が表現補助図形で切れて、多数の等高線を発生していた問題を修正しました。

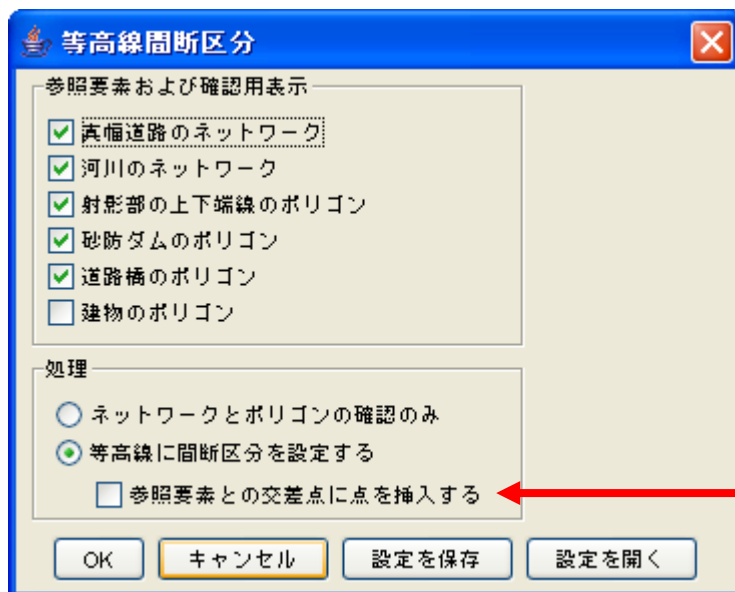


修正前：等高線が表現補助図形で切れている

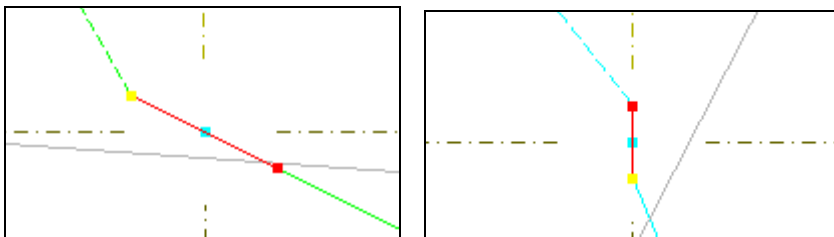


修正後：一本の等高線になっています

また、メニュー[一括処理]-[等高線間断区分]にオプション「参照要素との交差点に点を挿入する」を追加しました。従来はデフォルトで挿入していましたが、挿入しないことも指定できるようになります。

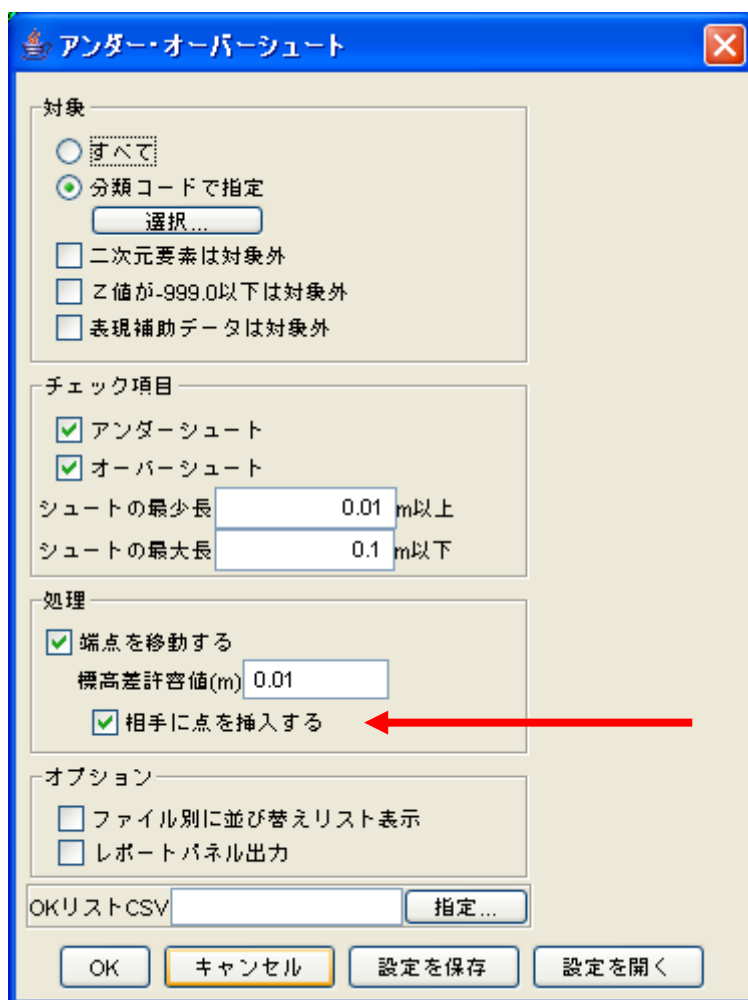


オプション[参照要素との交差点に点を挿入する]が ON の場合、等高線と参照要素が交差する位置で、参照要素に交差点を挿入します。デフォルトは ON です。OFF の場合、短い(地図情報レベル 2500 で 1cm 程度)の間断線が発生することがあります。下図では赤い線が短い間断線で、縦横の破線の隙間が 1cm です。



2. アンダー・オーバーシュート、アンダー・オーバーシュート(組み合わせ)

メニュー[チェック]-[アンダー・オーバーシュート]と[[アンダー・オーバーシュート(組み合わせ)]]にオプション[相手に点を挿入する]を追加しました。従来はデフォルトで挿入していましたが、挿入しないことも指定できるようになります。アンダーシュート・オーバーシュートで端点を移動した場合、相手側に同じ座標の点がない場合、相手側に点を挿入しないを指定できます。



アンダー・オーバーシュート(組み合わせ)

対象

- すべて
- 分類コードで指定 - 二次要素は対象外
- Z値が-999.0以下は対象外
- 表現補助データは対象外

参照


- すべて
- 分類コードで指定 - 二次要素は対象外
- Z値が-999.0以下は対象外
- 表現補助データは対象外

チェック項目

- アンダーシュート
- オーバーシュート

シュートの最少長 m以上
シュートの最大長 m以下

処理

- 端点を移動する
標高差許容値(m)
- 相手に点を挿入する 

オプション

- ファイル別に並び替えリスト表示
- レポートパネル出力

OKリストCSV